# 研究開発成果説明書（フェーズⅠ）

本様式は15頁以内でまとめてください。ただし、理解を深めるために必要な場合は、写真・グラフ等、追加の補足資料として本資料とは別に日本工業規格A列4番5頁まで認めます。

作成言語は原則日本語ですが、英文による作成も可能です。

［様式2]

|  |
| --- |
| 研究開発課題名を記入してください。 |

１　研究開発概要

(1) 背景・目的

本提案の背景となる社会的課題、社会的ニーズ、目的等について具体的に記述してください。

(2) 内容

フェーズⅠにおける研究開発成果について、提案書（実施計画書含む）に記載の目標を転記し、それと対応付けて詳細に記述してください。また、研究開発期間中に目標の見直しを行った場合は、その理由を詳細に記述してください。

研究開発手法（使用するソフトウェア、検証環境等を含む）、研究開発工程等について記述してください。独立行政法人情報通信機構（ＮＩＣＴ）が構築・運用する新世代通信網テストベッド（ＪＧＮ－Ｘ）、又は自社等が保有するネットワークを利用した研究開発・検証等を実施した場合は、その内容についても記述してください。

研究開発の実施に当たり外部有識者・外部専門家等による委員会を設けた場合には、同委員会の実施内容(開催日、参加者、内容等)を記述してください。

(3) 採択評価（専門評価・総合評価）におけるコメントへの対応

採択評価（専門評価・総合評価）におけるコメントへの対応状況等について記述してください。

２　研究開発成果（アウトプット目標・アウトカム目標）の達成状況等

(1) 研究開発目標（アウトプット目標・アウトカム目標）の達成状況

フェーズⅠにおける研究開発のアウトプット目標（試作ソフトウェア、特許等、研究開発により直接得られる成果）及びアウトカム目標（研究開発成果を使って得られる製品・サービス等）の達成状況を記述してください。

(2) 自己評価

ア　自己評価点

＃＃＃点

イ　理由

提案書（実施計画書含む）に記載のアウトプット目標・アウトカム目標の達成状況について、100点を満点として自己評価点を記入してください。また、その評価点として理由を記述してください。

＜チェック項目＞

現時点（平成２７年１２月末日時点）において、本課題の実用化までにはどの程度の期間を見込まれますか？

**□　１～２年程度 □　３年以上**

選抜課題が実用化に至るまでに必要と予想される期間について、現時点（平成２７年１２月末日時点）での予測期間について、回答してください。

３　成果展開

成果展開に向けた調査、成果展開の計画策定等を行うため、業務の外注等によりコンサルタント、ベンチャーキャピタリスト等から求めたアドバイスの結果がある場合は詳細に記述してください。

研究開発成果の製品・サービスへの成果展開について、特筆すべき点がある場合は記述してください。

（記載項目例）

* 成果の特徴・優位性
* 展開に向けた戦略・方法
* ターゲット市場、想定するサービス
* スケジュール（成果展開までのマイルストーン）
* 以下のキーワードについても参考にしてください。

*新マーケット開拓（マーケット概要）、売上向上（売上規模\*\*％向上）、ダウンロード数（提供方法、提供時期）、開発アプリケーションの事業化（事業者名、事業内容、事業化時期）、コンソーシアム設立（コンソーシアム名、設立時期）、売込(売込先、売込内容、予算規模)、製品化(製品名、事業者名、価格規模、製品化時期)、国際標準化(標準化機関、会議名、標準化技術、標準化時期)、オープンソース（ソース内容、提供方法、提供時期）等*

（記載例）

＜研究開発成果の売込み＞

[1]◯◯アプリケーションが××市の防災システムに採用決定、◯◯市、×百万円、採用年月、情報入手先（URL等）

‥‥補足説明‥‥

４　その他

その他特筆すべきことがある場合は記述してください。